

…主イエスのまなざしと出会う…

神さまに、隣人に、そして社会に仕える



# 会報

発行所:日本福音ルーテル教会女性会連盟  
〒169-0072 東京都新宿区大久保1-14-14  
TEL/FAX:03-3207-2340  
Web:https://www.jelc-w.org  
E-mail:jelc-w@big.or.jp  
発行人:八木 久美・編集人:廣瀬美由紀

2022.4.17  
164号  
25期2号

## JELCW ニュースレター

Japan Evangelical Lutheran Church Women

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい ローマの信徒への手紙12章15節

### 巻頭言

## 「道であるキリスト」

日本福音ルーテル浜松・浜名教会 牧師 渡邊 克博



最近はスマートフォンを手軽にカーナビとして使えるようになりました。大変便利な世の中です。

さて先日、二つのスマートフォンのカーナビの使い勝手を比べようと思い、二つのスマートフォンの案内を聞きながら車で移動しよう

としました。ある交差点に来た時、同じ声で異なるルートへ案内する声が車内に響きました。私は大変混乱しました。それぞれに異なるルートが設定されていたようです。運転には非常に危険と思い片方の案内を止めました。もし素直に二つの声に従ったなら、目的地に着かないどころか文字通り路頭に迷っていたと思います。

これは何気ない日常の失敗でしたが、私たち信仰者にとって非常に示唆に富む出来事だと思いました。私たちは、私たちの耳に入って来る二つの声を知っています。それは聖書からの声と、この世界からの声です。その両者は必ずしも一致せず、違う方向を指し示すことも多いように思えてなりません。そのどちらの声にも従順に聞き従ったならば、私たちは信仰者としての目的地にたどり着くことができないうところか、路頭に迷ってしまうことになりかねないと思いました。

聖書は繰り返し私たちに伝えます。「あなたは、わたしをおいてほかに神があつてはならない」(出20:2)、「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」(ヨハネ14:6)、「ほかのだれによつても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです」(使徒4:12)。いずれ

も私たちは多くの神様、多くの救い主を持つべきではなく、聖書から響くたった一つの御声に聴き従わねばならないことを告げています。それは、多くの声に従うとかえって迷ってしまい、ただキリストの御声に従うだけで十分だということです。

この会報が皆様のお手元に届く時に、この社会の状況はどのようになっているのでしょうか。ひょっとしたら、目の前の視界はあまり見通しが良くないかもしれませんし、少しは先を見通せるようになっているかもしれません。しかし、私たちは知っています。どんな先の見えない旅路のただ中にあつても、たとえそれが初めて通る道であろうとも、キリストによって指し示された道を進むなら、私たちはいつも正しい方向へと導かれるということです。これはとても大切なことです。この世界には人生の旅路を指し示すたくさんの声が響くけれども、人生に迷った時には、私たちは本当に頼りになる声を知っているのです。

試練と困難の連続のような人生、それが私たちの人生そのものだと思います。そのただ中であつて、聖書が与えるキリストの招きの声に従う生き方には、平安に満たされたこの世の旅路が約束されます。だから、安心してすべてをキリストに委ね、今日も明日も隣人に仕えていく隣人愛の人生を共に歩んでいきたいと思つています。

### プロフィール

学生時代の専攻は理論物理学。修士課程終了後、プログラマーとして勤務。神様の召し声の聞き、日本ルーテル神学校に入学、2015年卒業。現在は日本福音ルーテル浜松教会、浜名教会の牧師。趣味はプログラミングやクラシックギターなど。